

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

# 株式会社カトーコーポレーション

上山市にある株式会社カトーコーポレーションの金原駿人さん取材しました！  
金原さんは東北福祉大学総合福祉学部を卒業した後、2014年に入社しました。  
現在は農家の店トマト高畠店次長として勤務しています。

## (1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。

私たちのお店は、「農家の店」とあるように、主に農業資材を扱っています。トマトには資材館と青果物を扱うファーマーズマーケットがありますが、高畠店は資材だけを扱っています。

私の仕事は販売・接客、売場の整理・作成に加えて、発注などの事務作業が主な業務です。店舗で勤務する従業員は皆、これらが主な仕事内容となっています。

——事前にいただいた資料には、担当業務として「機械修理」とあるのですが、どのような機械ですか。



農業機械です。店頭では、草を刈るための刈払機、果樹農家さんが剪定するためのチェーンソー、除草剤や農薬を撒くための機械を販売していますので、その整備もしています。



——「毒物劇物取扱者」や「フォークリフト運転士」という資格を持っているとのことですが、仕事の中で必要なのですか。

まずフォークリフトは、業務で必ず使います。肥料が1袋平均 20 kg くらいあって、肥料袋を直接持ち上げると腰を悪くすることもあります。それにお客様が買う数は1、2袋ではなくて、30～50袋ですので、それを車に積み込むときにフォークリフトが必要になります。販売接客の中で肥料の積み込みはメインの仕事になります。



また、農薬も販売していますが、その中には購入するのに印鑑が必要な劇物や毒物もあります。それらを扱うためには資格を持った人を店舗に配置しなければなりませんので、取扱いの資格を取得する必要があります。



——入社して良かった点がありますか。

高島店に配属されて、周りの人には恵まれていると思います。最小限の人員でお店を回していますので、2年目から担当部門を持ちますが、自分の考えを受け入れてくれて、やりたいことに挑戦させてくれました。入社当初は遠慮していた部分もありましたが、自分の個性を出せるようになってきたことが良かった点ですね。

——自分の個性を出せるというのは、仕事のしかたについて裁量があるということですか。

そうですね。困ったことがあれば、社長や店長にアドバイスをもらいますが、ある程度は任せていただけます。お客様である農家さんと一緒に動いていくお店なので、お店の商品構成が1週間や1か月でガラッと変わります。今（取材時8月）、店舗の前には肥料や苗が少し並んでいますが、5月には全部苗です。6月にはさくらんぼの箱、8月はももやぶどうの箱を置きます。そのあたりの商品の並べ方は、担当者にある程度任せられています。



——農家の方との交流が多いと思うのですが、大変なことはありますか。

最初は、商品の知識がなくて大変でしたが、店長やマンツーマンで指導してくれる先輩、長く勤めている社員に気軽に聞けたので、それで解決していきました。お客様の中にも聞くと教えてくれる方が多いので、お客様とのやり取りの中で覚えていくことも多かったですね。いまだに覚えきれないことも多いので、常に勉強です。

——お客様との関わりの中で、やっていてよかったと思うことはありますか。

いろいろな資材や農薬を勧めたときに、「勧められた農薬、良かったよ」と言っていただいたりリピートしてもらったときに、やっていて良かったと思いました。担当を持つと、自分で新商品を仕入れることもできますので、お客様の反応があると良かったなと思います。

——競合としてホームセンターがたくさんありますが、農家の店トマトの強みはどのような点だと思いますか。

商品についての相談や商品の提案といった、お客様に寄り添ってアドバイスができることが大手ホームセンターとは違うところだと思います。大手ホームセンターには農業専門でアドバイスできる人は少ないと思いますが、私たちは全員が農業についてアドバイスできる体制にしています。農業をするお客様に対して、より寄り添えるというのが強みだと思います。



稻杭 (いなぐい)

## (2) 職場編

——金原さんはもともと農業に関わることに興味があったのですか。



私は農業についての知識は全くなかったのですが、食べるのが好きだったので、食と農に関する仕事で、体を使う仕事に就きたいと思っていました。いろいろな企業の説明会を見ていたら、地元にも全部兼ね備えた企業があるのを見付け、「まさにここだ」ということで決めました。

——上山市のご出身ですが、地元での就職を最初から希望していたのですか。

いろいろなところの企業説明会に参加しましたが、仕事内容で探すと県外にもそのようなスーパーマーケットはありましたので、最初は地元にはこだわっていませんでした。

——カトーコーポレーションに入社した決め手はありますか。

最終的には地元だということと、個別の企業説明会で社長からいろいろな話を聞いたときに、地元の農家に寄り添う気持ちが伝わってきたことです。



——カトーコーポレーションの特徴的な福利厚生があれば、教えていただきたいです。

基本的なことですが有給休暇は取りやすいですし、1時間単位での取得が可能なので、子どもを病院に連れていくときに使うこともあります。

また、地元根付いた活動として、上山市でのクアオルト健康ウォーキングに店舗の何人かで参加しています。そのクアオルト事業ができる前からも、社長も含めて県内外の山をハイキングしていました。

——他の支店との交流はありますか。

店舗は基本的に年中無休で、年末年始だけは全体が休みになります。その時期に会社の経営会議や親睦会、交流会などで1年に1回は集まっていました。他では全体ではなかなか集まれないですね。

——店舗が年中無休となると、土日休みにはならないですね。

シフトを組むときに希望があれば土日休みをすることはできますが、基本は土日関係なく、3日おきや4日おきの休みになります。月ごとに決められた休日数がありますので、シフトを組むときに希望の休日があれば申請して、あとは残りの休日が割り振られる感じです。

——入社してからはどういった研修があるのでしょうか。

まず、入社して1、2日は本社に新入社員が集められ、社長や部長から肥料や青果物の流れについての研修があります。その後は、お店で比較的年齢の近い社員が新入社員にマンツーマンで教えながら、営業を一緒にしていくという流れになっていて、研修は6か月間です。

——今、金原さんは研修で教える立場なのですか。

私は今、研修の最終チェックをする立場です。今は部下がいるので、部下が新入社員を教えていて、自分は研修中に毎日書いてもらう業務日誌を確認します。

——仕事の内容は、入社してからと店次長になってからでは違いますか。



入社して担当を持ったときは、自分の担当の範囲がメインですが、店次長になると、自分のことだけではだめです。他の部門も見ながら、全体を把握して自分の仕事をする必要があります。また、部下とのやり取りも大事だと思います。

### (3) ある日の過ごし方編

#### ●8:00 【出社】

メールや社内電子掲示板のチェックをしてから、開店準備をします。

発注物の確認・資料チェックもします。



#### ●8:30 【店舗営業開始】

接客、荷受け、商品の補充、レジ業務を行います。

#### ●10:00 【午前休憩 30分】

#### ●11:45 【交代でお昼休憩】

お昼休憩は1時間です。皆と話したり、テレビを見たりします。



#### ●12:45 【午後の業務開始】

接客、レジ、発注業務を行います。

次の日の荷受けの準備や売り場作りも進めます。

#### ●15:00 【午後休憩 30分】

#### ●18:00 【閉店】

商品の整理、補充、発注をします。

POP作りなどの事務作業をすることもあります。



#### ●18:30 【退勤】

退勤後は子どもと一緒に食事をして、お風呂に入ってから寝ます。

#### (4) むらやまでの暮らし編



——上山で暮らして良かったことはありますか。

生まれも育ちも上山ですので、子どもが生まれてから世話を手伝ってくれる両親が近くにいることが第一に良かったところだと思います。また、上山はそばどころで、そばや果物が美味しいなと思います。

——果物の中で一番好きなものは何ですか。

シャインマスカットです。高畠にもぶどう農家さんが多いのですが、そのお客様のところに直接買いに行くこともあります。生産者のところに直接行けるような交流ができて、良かったと思いますね。

——大学生の時は宮城で過ごしていたのですね。

仙台の中心部から少し離れたところで一人暮らしをしていました。近くにスーパーやホームセンター、コンビニがあっていいなとは思いましたが、山形にもそういうお店はあるし、それにプラスして自然との触れ合いや果物などの農産物があります。できれば自分の子どもにもそういったものに触れてほしいし、農家さんが生産したものを直でそのまま食べさせたいと思いました。

——**地方に住むことは、都会で生活することと比べて、メリットはありますか。**

都会に住むと基本的に周りは知らない人ですが、地元だと自分が暮らしていたコミュニティが近くにありまますので、孤独を感じないというか、全体で共生している感じがあります。

——**逆に、上山に住んでいて、不便だなと感じることはありますか。**

今のところは特別不便だと感じることはないです。車を持つ前は交通が不便でしたが、車を持ち始めたら大丈夫ですし。あとは、雪ですね。自分で雪はきして外に出る必要があるので、朝は出勤するのに早く起きないといけません。

——**上山から高島まで、冬はどれくらいかかるのですか。**

道路の混み具合によりますが、夏は平均 30 分くらいで、冬になるとその 1.5~2 倍になります。雪が多い地域に向かわないといけないので (笑)。

——**雪の多さを乗り越えるために、山形出身以外の人へアドバイスはありますか。**

いろいろありすぎますね (笑)。基本的に車の仕様が大事ですが、車が雪にはまったときに抜け出すためのスコップを積んでおくことです。私は上山に住んでいますが、高島に来て初めて、車にスコップを積んでいないのは非常識だということを知りました。ちなみに、トマトでも除雪用品は売っていますよ (笑)。

——休日はどうのように過ごしていますか。

子どもと一緒にいることが多いですね。子どもが保育園に行っているときは買い物などを行っています。子どもが生まれてから、休みの過ごし方もガラッと変わりました。

——お子さんが生まれる前はどのように休日を過ごされていましたか。

ラーメンやそばが好きなので食べに行ったり、運動するのが好きなのでジムに行ったり街をランニングしたりしていました。最近はそういったことはしていませんが、ラーメンは食べに行っています。



——おすすめのラーメン屋さんやそば屋さんがありますか。

上山市の西バイパス沿いにある「そば処一休」です。田舎そばというか、がっつり食感のあるそばが食べたくて行きます。ちょっとおしゃれなサラダが付いたそばもあって、妻にもウケがいいです。

## (5) まとめ編

——今後の目標は何ですか。

会社で一丸となって動くので、個人で何かすることはありませんが、自然災害や物価高騰の中でも農業が続けられるように商品やサービスを提供していくことが会社の使命です。それに向かって自分も頑張っていくことが目標です。



——今後、就活を行う学生へのメッセージがあればお願いします。

自分もいろいろな企業説明会に参加しましたが、当社だけでなく、他の企業にも魅力があったので、行ける限りはいろいろな会社の説明を聞くことが大事だと思います。

——多くの説明会に参加することで、自分の可能性を広げることができるのですね。

そうですね。人の話を聞くことで、自分にも可能性があることを見つけられると思います。あと、全く興味がなかったことでも、話を聞いてみると興味を持つこともあると思うので、いろいろな企業の説明を聞いてみるといいと思います。

———ありがとうございました！

インタビューを通して、農家さんのことを第一に考える、農家さんありきのお店なのだなと思いました。金原さんは土や肥料を買っている方を見かけると、すかさず「車まで運びましょうか？」と声をかけていて、お客様に寄り添う姿勢がとても印象的でした。店員さんに相談することもできるので、トマトは農家さんにとってとても心強い存在だと思いました。



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 小野寺真雪、成澤亜衣、金東均】

## 株式会社カトーコーポレーション

---

★地域の農家さんを元気にしたい！ アットホームな会社です。

<経営理念>

- ・ 農業と食品のニーズを常に考え、安全安心でおいしい農産物の生産と流通を目指します。
- ・ 活力ある農家づくりで日本農業の発展に貢献します。
- ・ 共に夢を語り、笑顔あふれる職場づくりを目指します。

★地域未来牽引企業

- ・ 所在地 山形県上山市阿弥陀地字旱田 705-1
  - ・ 設立 昭和 52 年 5 月
  - ・ 従業員数 76 名（男性 41 名、女性 35 名）
  - ・ 事業内容 農産物卸、肥料・農薬・農業資材小売り、産直委託販売
  - ・ URL <http://www.katoo.co.jp>
-